



KONICA MINOLTA

HONDA



Racing Specialities



Driver Stand 2りんかん



UNDER ARMOUR
PERFORMANCE APPAREL



The Nutrition Behind Performance™



PINS
FACTORY®

ALICE MOTORRAD GRAND PRIX DEUTSCHLAND

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 第10戦

ザクセンリンク(ドイツ)[7月15日(日) 決勝 天気 晴れ]

#56 中野真矢 [予選10位 決勝リタイア 総合ランキング15位]

金曜日の練習の順位は良くなかったが、セッティングをつめて行き予選では10番手まで順位を上げることができた。

決勝では、スタートも良いペースで走っていたが、5周目あたりからエンジンの異常に気づき、エンジンが重くなってきて一度リアがロックした。

マシンを止めようと思ったが、エンジンはまだ動いていたので、もう一度走りなおした。しかし、途中でまた同じような問題が出てしまったので、これ以上は危険だと思いピットインしてレースを終えることにした。

今回はミシュランタイヤにアドバンテージがあったようなので、最後まで走っていたらいいレースが出来そうだったが、今回は運がなかった。



ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



今日は、今期のベストリザルトを獲得できるはずだった。

真矢は良いスタートを決めロッシとヘイデンに抜かれたものの、良いリズムをキープしていた。しかし、5周を過ぎた頃からマシンに問題が出てしまった。

今日は優勝したものと同一タイヤを選択しており、選択が間違っていなかっただけに本当に残念だ。

今日、真矢はトップ8を獲得できたであろうし、今年はアンラッキーが続いている。

しかし、重要なことは我々がいくらか改善されて

きたと言うことで、7日後のレースで夏休み前に良い結果を期待できる。

ダニー・ペドロサとホンダが優勝したことは、後半戦に向けて我々に希望を与えてくれたよ。

OfficeFourEight

© shinya56.com